

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

昆虫もたくさん載っています

記号の説明:
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照
ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市観光案内所 (茅野駅ビル2F)
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 ☎: 0266- 75-1772

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

観察風景 (悦)

毎日暑い日が続きます。山歩きは日陰の多い楽なコースにしました。

エゾエノキでオオムラサキの幼虫を探し、アワブキでスミナガシの幼虫探し。今日のアイドルはスミナガシの幼虫君。写真を撮るとアイドルに群がる女性陣。その熱気に割り込めない男性陣。月例観察会の1ショットです。



茅野高大橋 (悦)



茅野高生徒によって架けられた丸太橋。

今日も沢山 (口)

- ・ウコギの実が赤紫色、まるで夏に耳元を飾るピアス
- ・ミドリヒメザゼンソウの包は残念、鹿？のスイーツになったらしい
- ・可愛い小さい花がなぜか名前はオニルリノウ(鬼瑠璃草)
- ・鳴き声は聞こえるがエゾゼミ・エゾハルゼミの抜殻を見るばかり
- ・そして懸垂中に脱皮したヤンマのヤゴ抜殻
- ・葉にかくれんぼのトビイロツノゼミ
- ・今年は豊作？ツノハシバミ



ウコギのピアス



懸垂中に脱皮？

サワギクの別名 (悦)



別名はボロギク。花の終わった後の綿を被った風情からの命名です。

7月に開花していた花たち (悦)

暑い時期は花も少ない？

- ★ダイコンソウ→①86
- ★キツネノボタン→①87
- ★サワギク→①87
- ★ドクダミ→①95
- ★イケマ→①93
- ★アオツツラフジ→②92
- ★ダイコンソウ
- ★ハルウツギ→ガイドブック①89
- ★オオヤマサギソウ→①94
- ★ミドリヒメザゼンソウ→②83
- ★クサフジ→①82
- ★ヤマホタルブクロ→①93
- ★ヤマハギ→②95
- ★コウリンタンポポ→①87



この木は何でしょう？ (茂)

ミズメの木を見ながら…

- ・樹皮は桜に似ているね
 - ・枝の折れ目からサロメチールの匂いがするよ
 - ・葉は厚く卵形で長枝に互生し翌年からは短枝に2枚づつだね
- などから推理を働かせました。また、松本家具の材料にも使われているそうです。



本日出会った昆虫 (馬)

- オオムラサキ成虫、終齢幼虫
- ルリタテハ
- スミナガシ終齢、中齢幼虫
- キタキチョウ
- イチモンジチョウ
- ミヤマカラスアゲハ
- ジャノメチョウ



- ツバメシジミ
- オオモドリシジミ♀の産卵シーン、卵
- シロシタホタルガ

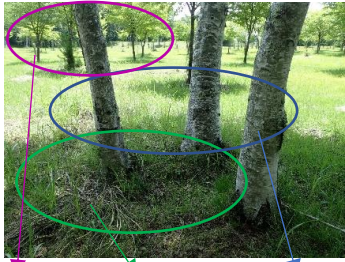


- エダシャクの仲間
- マイマイガ幼虫
- オニヤンマ
- ニホンカワトンボ♂無色翅型
- ゴミムシの仲間
- キマフリ
- チャイロスズメバチ
- ジガバチ
- ジウジナガカメムシ
- ヒグラシ成虫及び鳴声
- エゾゼミ鳴声

こんな虫もいた！ (悦)



アカキピナガオトシブミ



桜(植林) 赤松稚樹 白樺

山頂広場の変遷 (矢)写真も

市民の森(吉田山)は昭和40年代、ゴルフ場に開発され、頂上広場はレストハウス予定地で表土が剥がされ平らに整地されました。その後、桜が植えられ春には花見が楽しめます。皆伐や災害後の跡地にはアカマツやシラカバなどの先駆樹種と呼ばれる木が真っ先に根を張ります。これからどんな樹木が育つのか見守りたいですね。



コウリンタンポポ



ドクダミ

がんばれ (秋)

チョウの幼虫探し、エゾエノキ上のオオムラサキ、アワブキ上のスミナガシ何れも大きく育っていた。道化師のように大げさな模様や角を持ち、生きるのに必死の様子、がんばれよ!



オオムラサキ



スミナガシ

ハチの巣 (桂)写真も



コガタズメバチの巣があった。今年は蜂類が少ないと心配していたので、嬉しい。スズメバチも様々でこのコガタズメバチは大人しい。駆除一辺倒でなく、学習の場にもしてほしいものだ。

良く見ると (悦)

入口のハチをアップして見ると、キオビクロスズメバチらしい。

キオビクロスズメバチなら巣は地下だという。どういこと?ここに、どんなドラマがあったのだろうか?

いろいろ (K)

- ・ニホンカワトンボを見た。羽の赤い部分。いつもながら、自然が作り出す美しさに心震える。
- ・スミナガシの終齢幼虫を見ることができた。仮面舞踏会にお出かけ?
- ・時を間違えたか、うっかり寝過ごしたか? オオムラサキの終齢幼虫も見ることができた。元気で命を全うしてほしい。
- ・ツノハシバミの実が形作られ始めていた。まだ棘せず弾力があって柔らかい。
- ・エビガライチゴはまだまだの感じ。莖がネバナネしている。これは何のため?



オオヤマサギソウ

違いが分かる? (悦)



ヤマホタルブクロ
萼片の間に付属帯がなく、丸くふくらんでいて、毛がない。



ホタルブクロ
萼片の間に反り返った付属帯があり、毛がはえている。

昆虫との出会い (そ)

最高気温を更新中の最中、下界よりは涼しい森の中で沢山の植物や昆虫に出会えました。

- ・オオヤマサギソウ、初めて見ました。サギが羽根を広げたように咲いて何羽も飛んでいるようでステキな花でした。
- ・マイマイガの幼虫(毛虫)の顔、インパクトあります。
- ・フタスジモンカゲロウ、何とオシャレな昆虫なんでしょう!
- ・シロシタホタルガ、幼虫時代のカラフル模様は何処に…?



マイマイガの幼虫



フタスジモンカゲロウ

いました、地味な「エゾアオカメムシ」

実は隠れたおしゃれさん!

(矢)写真も



翅下白黒ストライプ



子供の時は
もっとおしゃれ!!

2016.7.28

